

地球惑星科学委員会 IUGS 分科会（第 24 期・第 1 回）

日 時 平成 29 年 12 月 26 日（火）13:00~14:30

場 所 東京大学地震研究所 1 号館 3 階セミナー室 B

出席者：

会員：木村 学，連携会員：大久保泰邦，奥村晃史，北里 洋，齋藤文紀，佃 栄吉，中田節也，西 弘嗣，

オブザーバー：小川勇二郎

議事

1. 北里世話人の司会で，西委員長が互選で選任される。副委員長は，北里，幹事に，益田，齋藤が選任される。益田幹事については後から本人から承諾を確認することになった。

2. 分科会の構成とタスク，今後の目標

IUGS 分科会の設置提案に基づき，構成とタスク，今後の目標が確認された。これに関連して，委員の追加が審議され，以下の 1 名の連携会員，2 名の特任連携会員を追加申請することになった。

委員の追加：

谷口真人連携会員，IAH 小委員会の委員長，

特任連携会員の追加：

渡辺真人：UNESCO Global Council の国際委員，ジオパークの推進

宮崎一博：IUGS の CGI，Council member，CGI 小委員会委員長

CGI：デジタル地質図の国際標準化の調整と推進

3. 前期からの引き継ぎ事項

以下の引き継ぎ事項，今期の重点目標が確認された。

1) 北里委員から昨年度の活動報告（追加資料）に基づき，日本は，カテゴリー 8 の割 commission などの国際委員が少ないことから，今後増やす必要があり（現在 18 名，30 名を超えるように），特に若い人に入ってもらえるように努力が必要であること

2) タスクグループ Task Group on Geohazards (TGG)：（大久保委員が代表）を積極的に支援する，

3) 地学オリンピック，及び，geopark の支援，

4) チバニアン（日本で初めての GSSP）の支援

今期の重点項目

5) 国民の地学リテラシーの向上，人材育成，

地学オリンピック（川村委員長）やジオパーク（尾池委員長）とも連携し，学会議の人材育成分科会とも連携を模索し，提言にまとめる。

4. 各小委員会が承認された。配布資料では CGI 小委員会が欠如していることから確認することになった。

5. H30 代表派遣：30 年度の executive committee への北里委員の派遣が承認された。

6. IUGS 活動報告

6-1) 北里委員から Executive Committee (追加資料有り) 報告が行われた

6-2) 大久保委員から、TGG の報告が、来年 1 月の管理理事会報告資料をもとに行われた (追加資料有り)。先週ホームページ立ち上げられたこと。

と。 <http://ougstgg.lab.irides.tohoku.ac.jp>

情報交換のプラットフォームとして活用、現在情報収集中。JpGU-AGU 2017 でセッションを設け、現在特集号を企画中、雑誌は検討中。ミャンマー調査 (satreps への提案を目的)、CCOP の年会でセミナーを開催し、多くの情報が収集でき、大成功であった。

6-3) 小川オブザーバーから資料に基づき、IUGS の前期活動に関する所見が報告された。

7. 齋藤委員から GSSP へ申請されたチバニアンの経過報告があった (追加資料有り)